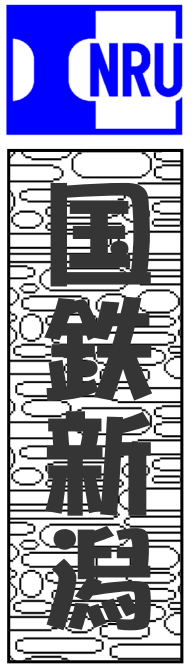




# ご苦労さまでした 地本退職者送別会



NO. 621  
発行  
07・12月4日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
守橋久仁雄  
編集責任者  
教宣部

11/23

十一月二十三日  
地本退職者送別会が新潟市東映ホテルで十一時から開催されました。

今年の退職者は十四名、当日の出席は七名でした。  
各支部・分会代表や退職者組合・牛木事務局長、交運共済の高橋所長の出席、全体で二十五名の出席でした。



司会進行は  
地本・渡部書記

地本書記の渡部さんの開会あいさつではじまり、はじめに地本守橋委員長のあいさつがあり、つづいて来賓では、退職者組合の、牛木事務局長、交運共済の高橋所長から、あいさつがありました。  
退職者の紹介、賞状授与、記念品贈呈など行われ退職者の方々から御礼の言葉がありました。



関川書記長の乾杯の音頭で第二部が始まりました。しばらく御歓談の後、各支部・分会の代表の方々から激励の言葉がありました。  
最後は国鉄労働組合歌を全体で肩を組みながら歌いました。  
その後、守橋委員長の団結がんばろうで終了しました。



乾杯は関川書記長

## 地本守橋委員長 あいさつ



忙しい中、送別会に出席していただきました。来賓の方々も出席していただき感謝しています。  
今年、1年間で14名が退職しました。その中で7名が出席していただきました。40年間を超える鉄道生活に対して、ご苦労さまと思えます。  
この間の国労組合員としての闘い、ご指導に感謝しています。闘いは続いています。医療・年金・介護など大変な状況にあります。国労としての闘いは、国民的課題と結合して進めます。この方針は変わりません。共通の要求の前進に向けて取り組んでいかなければなりません。  
今までの御支援、御指導に感謝しています。健康に注意して、いつまでもお元気でいてください。長い間、ありがとうございました。



# 退職者あつたつて苦勞様でした



## 久保田さん

★久保田さんは『酒田機関区へ配属になった。その後、皆さんと一緒にがんばってきた。乗務員だったが二年間検修・出向などの勤務だった。物忘れが多くなった。今のは忘れるが、昔のことは忘れない。七四春闘は忘れない、列車が止まり



## 鹿野さん

★鹿野さんは『四十一年勤務した。現在、JR再雇用制度で関連会社のテムズに勤務している。契約は一年ごと。身体が続く限り続けていきたい。精神的に追い込まれた時期もあったが、がんばってこれた。これからも『指導を』とありました。』

レールが赤くさびた。職場に赤旗、横断幕を貼ったのが忘れられない。現在は竹炭をはじめた。シルバー人材センターへ行っている。国労の先輩から指導してもらっている。国労に関して本当に良い仲間ができて良かった』とありました。



## 志田さん

★志田さんは『十九才の時、国労に加入した。酒田に配属され、青年部長や交渉委員など組合運動をしながらみなさんとがんばってきた。乗務員として六十才まで勤務した。山行きの紀行文を記載した。十二月一日に自分の写真集を出すことが四十年間の節目と考える。これから自分の好きなことをやる。山行きのため鍛えている。(五千メートル級)風雪・土井大助の詩に確信をもっている。(どんな小道に迷い込もうといずれ俺達はひとつの道で出逢うだろう)』とありました。



## 馬場さん

★馬場さんは『四十二年間の鉄道人生・国労人生。国労が平和の問題でストライキを決定したことが一番誇りに思っている。素晴らしい人達とつき合い活動することができた。人の出逢いは大切なこと。鉄道整備へ出向した。ユニオンショップ制。労働条件・賃金が厳しい。』



## 小川さん

生活保護以下の賃金になっている。労働組合は名ばかり。JRの時の三倍くらいの業務量だ。自分の好きなことができない。現在、中越労連の議長をしている。国労の闘いの手助けになるのではとがんばっている』とありました。



## 渡辺さん

★渡辺さんは『退職についてピンとこない。昭和三十九年に新津機関区に配属。新潟地震は鮮明に覚えている。四十年十月、機関車に乗務。国鉄闘争・貨物問題、さまざまな問題がある。一〇四七名問題を共にがんばっていこう』とありました。



## 斉藤さん

★小川さんは『七五年のスト権ストで列車を止めた。鮮明に覚えている。JR移行後、人活に入られた。そこから駅へ、国労だけ差別され開発センターへ入れられた。職場では良いことは無かったが退職できた。JRと関係の無い土地改良区へ勤務することになった』とありました。

★斉藤さんは『ビラ貼りを村まで行って行動した。新潟では駅の業務そして新宿・亀田駅と波乱万丈の生活だった。現在は新津車両センターで清掃業務を行っている。約半年になった。これからも皆さんと共にがんばって行く』とありました。



## 退職者組合 牛木事務局長

来賓挨拶・牛木事務局長

『退職者は組合へ加入を、JRへ再雇用した人は国労として運動を引き続きして下さい。二重加盟はやらないでJRを退職した人が加入してください。退職者組合の組織人員は千百名。居住地で加入、地域で組織しています。新潟・下越・工場・中越・酒田・直江津の六地域になっています。地域の要求を中心に社会保障制度など要求を掲げています。国労への連帯・助け合い運動もやっています。退職者が突然病死しています。民間への出向で労働条件の変化が原因、健康に注意して欲しい。出向先の労働条件に対しての申し入れ・交渉をしていく制度をつくることが重要だ。運動・趣味を通じて身体を動かして元気に活動して欲しい』とあいさつしていただきました。